
だからなんだといってんだ!!

杉並 慶太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だからなんだといってんだ！！

【Nコード】

N1625Z

【作者名】

杉並 慶太

【あらすじ】

小説（杉並慶太）

朝、目が覚めた時、俺が目にしたのは…

「ダアアアアア！！！！！」

だなどい!! (前書き)

特になし

だなとい！！

朝、目が覚めた時、俺が目にしたのは：

「ダアアアアア！！！！」

時刻7時59分をさしていた目覚まし時計だった

「8時30分まであと30分だと！（遅刻まで）」

俺は20分で支度をし、（明日の準備すらしないのが俺！）朝飯をスルーして学校に向かった

「やべえー！間に合わねえーだろこれ！チキショー！（泣）こんな
ったら最終手段だ！！」

俺は最終手段で誰かさん（マジで誰の？！）の畑を突っ切った

さ・ら・に

一般生徒は通つてはいけない門を通貨した

ちなみに門にはロックがしてあったが、ゴットハンド（自称）により暗号解読に成功していたので余裕で通行できるのだ！

「ウオオオオオオ！！！！間に合ったー！！」

最終手段のおかげでギリギリセーフ！（家から1分ちよいでつきま
したwww）つい叫んでしまったぜ（ ; ）

この喜びを誰かに伝えたくてサイトツペ（チャームポイントはぐる
ぐる頭とポツチャリおなか）という 人にこの出来事を話した

が

「……………」（無視かよオオオオ！！！！）なんてひど
いんだ！！

俺は一時間目が始まるまで泣くの会った…

四時間経過

「ウオオオオオオ（泣）」 俺はさらに泣いていた

「今日テストかよー！！

全然わかんねえー！！

社会とかほぼ白紙！！」

階段で愚痴の連呼を繰り返す俺！

そこに一人の男子生徒が

『オケ行こうぜ！！』

といって来た

（オケ＝カラオケ）

俺は一样『オツケー』といったが

実際余り気は進まなかった

あれから30経過

俺は全てを忘れて歌を熱唱していた…

さらに1時間経過

「いやゝ、歌ったねゝ」 「これからどこに行く？」（男子生徒）

「どっか」（笑）

「ん、じゃあほっつき歩こうぜ！」

「ええよゝ」

ということ、

今、第4公園にいる俺達 は途中で捕まえた同じ学校で同学年の二宮とい男子生徒に菓子を買ってきてもらっている最中だった

「買って来たよゝ」

二宮が戻ってきた

「何買ってきたん」

「じゃがりこ12個」

「」

（オイイイイイイ！） 「お前はバカなのか？それとも…」

と言いかけたが俺は最後まで言わなかった

何せコイツはバカを通り越した

どうしようもない奴なのだ

すると二宮が何か察したようでこう言った

「俺は天才だ！」

（言い切ったー！！最後に『！』ついてたよ！！自称だよ） 「え」と話変えるがこれどうする？」

さっきまでじゃがりこ12個を見つめて
顔文字で表すと

（？「??？」）

みたいな顔をしてた

男子生徒こと松澤が聞いて来た

それに俺は疲れた顔で

「食つか…」

と言った

それからのことは

二宮が1秒間に3というペースでじゃがりこを食ってた事しか覚えていないが

ただ一ついえるのは

「疲れたな…」

だなどい！！（後書き）

時と場合によつてはここで話は終わります
長くなるか短くなるかは皆さんしだいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1625z/>

だからなんだといってんだ!!

2011年12月5日21時57分発行